

2015年10月1日 第2207回例会
10月第1例会

RIテーマ Be a gift to the world
「世界へのプレゼントになろう」

本年度会長テーマ
「ロータリーを通して、互いに親しみ触れ合おう」

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」

◆ 会長時間 ◆

金本会長



新年度が始まり三カ月が経過しました。奉仕プロジェクトの方も具体的に活動が始まり、先月25日（金）には佐伯区役所並びに西区役所を訪問し「子供見守りジャンパー」

を寄贈してきました。梶社会・青少年奉仕部門理事、井下地域・環境委員会委員長はじめ関係委員会の皆様お疲れ様でした。この正式な贈呈式（目録）は、11月26日（木）の例会で行う予定となっています。

さて今月は「経済と地域社会の発展月間」です。世界には、その半数近くが職を持っているにもかかわらず、1日125円以下の生活費で暮さなければならない人が14億人いると言われています。

「経済と地域社会の発展月間」では、地域の経済の発展を促し、人びとが生産的で十分な対価を得られる仕事に就けるよう、例えば次のような支援を強調する月間として定められました。

- ① 地元の起業家や地域の指導者を育成する。
特に貧しい地域の女性起業家の育成に力を入れる。
- ② 堅実で生産性の高い仕事の機会を、特に青少年のために開発する。
- ③ 貧しい地域社会の経済発展を促すため、起業家、地域社会のリーダー、地元団体などの

地域ネットワークづくりを強化する。

- ④ 経済と地域社会の発展に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のために、奨学金による支援を行う。

ロータリーは、世界の人びとが生活と地域社会の経済に、末長い発展をもたらしていけるよう支援しているところです。

次に今月は、日本独自の「米山月間」でもあります。米山奨学事業への理解と支援は例年地区の重点項目となっており、本年度も1人16,000円以上の寄付目標が掲げられています。本日の卓話は米山強調プログラムとなっており、広島西南ロータリークラブさんがお世話をされているベトナムからの留学生、チャン・レー・ティさんに卓話を頂くこととなっています（カウンセラーの山下幸彦様にも出席頂いています）。チャン・レー・ティさん、後ほどよろしくお願ひいたします。

☒ 新会員に会員証、ロータリーバッジ、四つのテスト及びロータリアンの行動規範を贈呈



藤原 泰蔵 君

● 会務報告 梶本幹事

※ロータリーレートが10月より1ドル120円（現行124円）に変更になります。

※次週例会は会場を「ひろしま美術館」に変更して、職場訪問例会となっておりますので、お間違えのないようお願い致します。

※例会終了後、4F「アマリリス」にて理事会を開催します。理事会メンバーの方はご出席下さい。



若林佐伯区長を囲んで

● 委員会報告

※ プログラム・出席委員会

出席報告 中岡委員

本日（10月1日・木曜日）

会員数 82名 出席者 68名

欠席者 14名 ご来客 1名

ご来賓 0名 ゲスト 2名

計 71名

前々回（9月10日・木曜日）

出席率 100%



岩崎西区長を囲んで

※ プログラム・出席委員会 中岡委員
地区大会送迎バスアンケートについて

※ 地域・環境委員会 井下委員長

見守りジャンパー寄贈報告等

当委員会が防犯活動支援事業として取り組んでおります、子供たちの見守り活動でシンボルとなっている緑のジャンパーの寄贈の件ですが、先週9月25日（金）に金本会長以下、執行部、地域・環境委員会のメンバー6名で佐伯区役所と西区役所を訪問し、両区長と市民部地域起こし推進課と有意義な懇談を行ない、両区役所に広島西ロータリークラブのロゴ入りジャンパーをそれぞれ100着ずつ寄贈しました。両区役所とも大変喜んでいただいたことをご報告致します。佐伯区役所での寄贈の様子は、佐伯区「安全・安心」新聞の10月2日号に掲載される予定です。ジャンパーの寄贈の件は、改めて11月26日の例会時に広島市教育委員会教育長様にご来会いただき、贈呈式及び卓話を予定しています。

別件ですが、来週10月7日（水）11時に広島市西部こども療育センター「なぎさ園」を訪問し、当クラブ初の地区補助金を活用した電動車イスの寄贈を予定していますので併せてお知らせ致します。

当委員会からの報告は以上です。

● 同好会報告

☞ 紫雀会 鈴木世話人

紫雀会9月例会の報告

紫雀会9月例会は、いつもの庚午クラブで9月10日木曜日に、おとなりのそば吉で食事をとったからのスタートとなりました。

今回の注目は、久しぶりに紫雀会に戻ってこられた木本さんが、どこまで頑張れるかというところでした。その期待どおり、前半戦+36後半戦+76と好調の岡野さんをおかわしての優勝となりました。惜しくも優勝を逃した準優勝の岡野さんではございましたが、一番木本さんの再入会を喜んでいただいていたのは、まぎれもない事実でございます。3位にすべり込んだのは、頭を取ると最近鼻息の荒い片山（恵）さんでした。

次回例会は、10月15日の第3木曜日に、庚午クラブ集合です。宜しくお願い致します。

● 会員記念日

🎂 10月お誕生日おめでとうございます。

(7名)

鈴木君 福田君 小田君 村上君
前橋君 長谷川君 井下君



■新会員紹介

たてはら たいぞう
○ 蓼原 泰蔵 君

推薦者 金本善行君

推薦同意者 森信秀樹君

生年月日 昭和31年4月8日

勤務先 広島ガス株式会社

役職名 取締役執行役員 経営企画部長

学歴 慶應義塾大学 経済学部

この度、歴史と伝統のある広島西ロータリークラブに入会させて頂きました蓼原泰蔵と申します。入会に際し、金本善行様、森信秀樹様の推薦と会員の皆様のご承認を頂きましたこと、厚くお礼申し上げます。

名字の「蓼」という漢字が難しいので、いつも「蓼食う虫も好き好き」の「蓼」ですと説明しておりますが、どうか毛嫌いをせずお付き合いの程よろしくお願ひいたします。

私の勤務しております広島ガスでは、グループにて約41万件のお客様に都市ガス（天然ガス）を、約16万件のお客様にLPガス（液化石油ガス）をご利用いただいております。「地域社会から信頼される会社をめざす」という経営理念に基づき、エネルギーの安定供給と保安の確保を柱とする事業活動を展開しております。

ロータリー活動につきましては、2012年から約1年半、当時の赴任地であります尾道ロータリークラブに在会しておりました。

ロータリー活動を通じてネットワークを広げ、違う職種の方々と親睦を深めることで、人間としても幅を広げて成長していく良い機会となってい



けますよう勉強をさせていただこうと思っております。

広島西ロータリークラブの皆様方にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

●スマイルボックス SAA 大本委員

😊 森脇君（自主申告・トリプル）

秋祭りのシーズンになりました。

私の兼務しております山県郡安芸大田町の堀八幡神社で、10月4日(日)昼12時半より流鏝馬神事を取り行います。人馬一体の勇壮な神事をご覧下さい。広島県の無形民俗文化財に指定されており、県内で唯一本格的な流鏝馬を行なっているのは当社のみです。500年の伝統があります。戸河内インターチェンジ（中国道）を降りたすぐ近くです（2km）。時間のある方はお越し下さいませ。

😊 田中君（自主申告）

9月20日から23日までの3泊4日で世界遺産登録の青森県白神山地の周遊と岩木山（1625m）、白神岳（1232m）登山をしました。

登山ガイドに書いてある登山の標準時間よりもオーバーしましたが、登頂できたことに感謝して出宝します。

😊 浜井君

広島経済レポートによりますと、大野石油店は、防汚や消臭、抗菌作用などがある水溶性酸化チタンを使った「ミラクルチタン光触媒コート」事業の強化に乗り出すとのこと。事業の益々のご発展を祈念します。

😊 新会員と推薦者

本日入会の蓼原さん、入会おめでとうございます。また立派な会員をご推薦頂きました金本さん、そして推薦同意者の森信さん、誠にありがとうございます。新会員の蓼原さんが、当クラブに馴染んでいただき、ご活躍されることを祈念しております。

😊 紫雀会9月例会

優勝 木本君（ダブル）

準優勝 岡野君

3位 片山(恵)君

😊 コーヒーの日

10月1日は「コーヒーの日」です。2014年3

月開催の国際コーヒー機関（ICO）理事会において、2015年から10月1日を「International Coffee Day」とすることが決まりました。

- ① コーヒー党を自認している方
 - ② 本日、例会までにコーヒーを飲んできたという方
- 出宝をお願いします。

■ 卓 話

米山奨学委員会 強調プログラム

米山月間に思う



米山奨学委員会
福田 康彦 委員長

今年度は当クラブには米山奨学生の割り当てがなく、日本ロータリーの誇る国際的事業への直接の貢献が出来なかったことは大変残念なことであったと思います。特に安保法案改正などにより昨今のアジア地域の緊張に対して日本が明確に軍事的対応をとった中で、一方の平和外交の重要性が一層増しているの、「米山奨学制度」の意義はかつてなく大きなものとなっています。60年以上の歳月をかけて日本ロータリーは世界120か国以上の国と地域からの1万9千人近い留学生を支援し、その結果国内外37の学友会が“平和の人垣”として活躍しています。中国の米山学友会は5千人規模で、反日運動の時には日本人や日本の店を守るために努力したと聞いています。国の各分野で重要な地位に就いている学友も多く、想像以上に平和外交に大きな力となるものと思います。

直接の貢献が出来ない今年度は、例年に増して寄付行為によって当クラブの責務を果たす必要があります。普通寄付金8千円、特別寄付金1万円、計1万8千円が、当クラブの例年の平均寄付金額で、当地区75クラブの中では6番目あたりに位置しています。特別寄付金の目標を一人当たり1万2千円に設定して、何とか2万円台を目指したいと思っておりますのでご協力をお願い致します。

奨学生の各地区採用人数は個人平均寄付額の全国比が最も大きな要素になっています。当2710地区のそれは1万3千円に満たないため、34地区

の中で22番目に位置しています。従って、当地区には75クラブがありますが、毎年20人少々の奨学生の採用しかされていないため、多くのクラブは奨学生と無縁の状態に置かれています。また、島根、鳥取は指定校が2校しかないため益々奨学生の採用は困難になっており、共同クラブ方式などの工夫をして地域格差も是正する必要があります。また、当地区内での奨学生採用ルールや採用経過などの情報がないように思いますので、その透明化も必要でしょう。今後のアジア情勢を考えると、米山奨学制度は日本ロータリークラブの最重要事業になる可能性が高く、当地区全体が奨学生増加へ向けた意識改革を行い、寄付金増額を地区全体で取り組むことが必要かと思っております。その方向に向けて努力したいと考えています。

来年のソウルでのロータリー国際大会では、米山奨学をアピールするために分科会や米山ナイト、展示ブースなどが準備されているようですが、米山奨学の「平和への貢献」という精神が世界のロータリアンに理解される良い機会だと思われま。日本ロータリーとしては一万人の日本人ロータリアンがソウル大会に参加することを呼びかけています。1ロータリーから5名参加を目標としていますので、協力をよろしくお願い致します。



広島西南ロータリークラブ
カウンセラー

山下 幸彦さん



平和の大切さ

米山奨学生（広島西南 RC）
チャン・レー・ティさん

皆さん、こんにちは。

最初にちょっと自己紹介させていただきたいと思っております。私はチャン・レー・ティと申します。ベトナムから参りました。今年の4月から米山奨学生になり、広島西南ロータリークラブの例会に参加させていただきました。本当に色々お世話に

なっております。去年の4月に日本に来て今はYMCA 専門学校で日本語を学んでおります。来年日本の大学に入学し、工学部で物作りの知識を身につけるのが私の目標です。

私はなぜ日本に留学したのかと、多分ここにいらっしゃる皆さんも私に聞きたいと思います。この質問は何回も聞かれました。最初は突然で答えることができなかつたときもありました。それで一人考えて、答えが出ました。日本に留学したのは日本のことが好きだからです。好きだというより本当はもっと日本のことを知りたいのです。子供の頃、日本の壊れた製品がリサイクルされ、ベトナムで売られたのをよく見ました。しかし、不思議なのはベトナム人は新しいベトナム製より、そのリサイクルされた日本製のほうを信頼し、よく買っていたことです。なぜ、新しいベトナム製はリサイクルされた日本製に負けたのか、ベトナムは日本のような丈夫なものを作れないのか。それは日本の技術はベトナムの何倍も越えているからです。そしてベトナム人は日本の技術を信頼しています。ですから、私は日本で日本の技術を勉強したいと思っていました。

もう一つの理由があります。それはなぜ日本は戦後、すごく発展していったのか答えを知りたかったからです。ベトナムも日本も戦争の被害に遭いました。しかしベトナムは日本と同じように発展できませんでした。それで、海外に行ってどうやって日本が発展してきたのか自分の目で確かめたいと思いました。日本にいる間しっかり勉強し、もっと日本のことを学ぼうと思っております。

では、今日皆さんに話すテーマについて話したいと思います。留学生の私は皆さんに何を話すのかを何回も考えました。話したいことは何でしょうか。それでベトナム人から見た平和の大切さについて話すことにしました。

日本では第二次世界大戦以降は戦争がありませんでした。いつも平和に暮らしている日本人にとってもう平和な生活は当たり前のことになりました。そして、島国の日本では他の国との交流はあまりなくて、他の国に侵入され、戦争になったこともなかつたと思います。しかし、ベトナムは日本と違います。皆さん、ご存知の通り、1858年にフランスに侵入され、それから100年以上ずっとフランスとアメリカと戦いました。当時ベトナムが勝てるとは多分誰も思いませんでした。フラ

ンスやアメリカは発展している国で銃や戦車など、近代の武器を使っていました。その一方で、ベトナムはそんな近代の武器をまだ持っていなかつたのです。そのぐらい力の違いがあつたにもかかわらず、ベトナム人は100年間あきらめずに戦って、大勝利に終わりました。1954年のディエンビエンフーの戦いが当時世界に知られていました。フランスの軍事拠点を攻めたおかげでベトナムはフランスの手から国の独立を取り戻しました。フランスの後はアメリカでした。

ベトナム人がそんなふうになつてきたのは平和の大切さが分かつていたからこそです。でもベトナム人は自然に平和の大切さが分かつてきたわけではありません。平和の大切さが分かつてきたのは昔から中国に侵入され、ずっと戦ってきたからです。紀元前207年に始めて中国に侵入され、1000年間支配されました。最初はベトナム人は抵抗しませんでした。しかし、自分の民族の言語、文化などを奪われ、皆の生活を搾り取られ我慢できないほどになつて初めてベトナム人は抵抗しました。40年のことでした。240年間我慢してやっとベトナム人が抵抗し始めました。二人の女性がリーダーとして皆さんを指導して戦いました。はい、男性ではなく女性でした。二人は姉妹で、お姉さんの夫は中国政権に殺され、恨みを抱いて決起しました。馬ではなく象に乗って3年間戦い続けました。しかし力の違いで圧倒されました。失敗しましたが、ベトナムにとっては大事な意味があります。その戦争を始めてベトナム人は我慢してはいけない、戦わなければならないと分かりました。それから何回も戦争が起こりました。やっと905年に中国に勝ちました。その後もずっと何度も中国と戦いました。こんなに侵入されたからこそ、ベトナム人は平和の大切さが分かつてきました。

ベトナムの国旗も平和の意味を表しています。日本の国旗の真ん中は赤い円の形で、太陽という意味で知られています。ベトナムの国旗の真ん中は星です。星には5つの角があります。それは社会の5つの階層 兵士、農家、工員、商人と知識層です。周りは赤色になります。ベトナム人のイメージでは激しい戦争で、たくさんの人が犠牲になつたおかげで平和が得られたから周りは血の色の赤になりました。

もちろん、戦争で人が死に、損害を受けたのは

避けても避けられないことです。それは皆さんも分かってくれると思います。日本は第二次世界大戦のときも大きな傷を負いました。特に2つの原子爆弾をアメリカは広島と長崎に投下しました。当時広島でも、14万人の人が死んでしまい、広島全体が破壊されました。今の日本人の皆さんも多分アメリカにやられたことを忘れてたくても忘れられないと思います。ベトナムも日本と同じです。100年以上の戦いでベトナムも大きな損害を受けました。戦場で死んでしまった人だけではなくフランスの制度に搾り取られ、亡くなったベトナム人の数も数えられないほど多かったです。特に1944-1945の時期、戦争のためフランスはベトナム人の食糧を剥ぎ取って、そして災害も加わって当時ベトナムの人口の10%に当たる200万人が餓死してしまいました。食べ物がなくなり、死が近づいてもベトナム人はあきらめずに戦いました。それから1945年9月2日に現在のベトナム社会主義共和国が創立されました。人口の10%が餓死したそのときのベトナムは本当に困りました。しかし、皆が団結し、協力して困難を乗り越え、戦い続けました。ベトナム人の貢献があったからこそベトナムが勝利できました。当時のベトナム人の貢献は本当に大きいものでした。五人の家族は一人ずつ戦争に参加し、四人が死んでしまい、生き残ったのは年をとったお母さんだけでした。家族の中で自分ひとりしか生きられなかった当時のベトナムのお母さんは珍しくありません。そして死んでしまった家族にお葬式どころか遺体さえ見つけられない場合も少なくありません。そして今、たくさんのさびしい話が残っています。ある一つの話が私の頭に残っています。それはテレビ番組で偶然知りました。戦争で隠れるため岩屋に潜り込んだ皆の中に何ヶ月かの赤ちゃんがいました。しかし、その赤ちゃんがずっと泣き続けました。そのままでは皆さんが捜し当てられてしまうかもしれないとお母さんは皆を守るために自分の子供を生きたまま土に埋めることにしました。ま

だ物心つかない子供も戦争で殺されました。そのお母さんも後で発狂してしまいました。どんなに辛いことか今の私は考えられません。そのような傷は今でもベトナム人の皆の心にのこったままです。

しかし、その傷はいつか癒されると思います。けれど、ある被害は今のベトナム人の皆に残っています。それは反米抗戦のときの被害です。1966-1971のことです。ベトナムには林や森がたくさんあり、ベトナム軍の隠れ場所として利用されました。アメリカは当時のベトナム軍の隠れ場所を荒らすため8000万リットルの枯葉剤をベトナムの森に散布しました。その枯葉剤は高濃度のダイオキシン類との混合物で知られています。8000万リットルで当時のベトナムは一人当たり約3kgぐらい浴びてその枯葉剤でやられました。当時1000人ぐらい死んでしまいました。けれど今ベトナム人は480万人がその枯葉剤で汚染され、その中でも50万人の子供は、生まれた時から不格好で、200万人がその枯葉剤に影響され、がんになりました。アメリカでも25万人の兵士はその枯葉剤に接して死んでしまいました。大変なのはその枯葉剤の被害はお父さん、お母さんから子供に移ることです。今も直す方法がなく、防ぐ方法もありません。今のベトナム人だけではなく、将来生まれる子供たちもまだ戦争の被害を受け続ける状態です。

全て私が話したのは戦争の恐ろしいことです。台風や地震は災害であり、人間の力では何もできないのです。しかし戦争は違います。戦争を起こすのは人間で、戦争の被害を受けるのも人間です。だから今平和に生きている私たちは平和を大切にしなければならぬと思います。

● 卓話予告

日時	テ ー マ
10/15(木)	新会員卓話 野嶋 説夫 君、南條 滋 君

例会日・木曜日 12:30~13:30
 例会場・ANAクラウンプラザホテル広島
 会 長 金本 善行
 幹 事 梶本 政明

事務所・〒730-0011 広島市中区基町6-78
 リーガロイヤルホテル広島13F
 TEL 082-221-4894・FAX 082-221-4870
 E-mail : hwrc@godorc.gr.jp
 作 成・会報雑誌・広報委員会

広島西RC

検索

